新羽地区 ふくしの和

題字　長澤　茂

第7号

発行　横浜市港北区
新羽地区社会福祉協議会
会　長　小山　勇吉
編集人　中村　丈之
港北区新羽町1525
☎（541）0869

企業における福祉の使命

日本リネンサプライ株式会社
社長　佐藤　一男

近年、日本は豊かさと共に、福祉国家になったといわれています。然し、欧米に比べると政策面や、社会資本に於て未だに遅れている点も多く、まだまだ後進国といわれても仕方がない現況ではないでしょうか。

さて、企業は福祉に対して如何なる使命を持ったら良いのでしょうか。私は及ばずながら或る試みを実践しております。それは障害者の雇用と、どの様にして彼らをそれぞれの職場に於て伸ばしてゆくかという事です。

先ず、障害者に過剰な気づかいをし、生産性を重視するあまり、職場を独立したり、隔離するのではなく、健常者と協働の職場とする事です。つまり協働の環境は、指導が良ければお互いの欠点を補い、かえって長所を助長させることが出来るのです。

障害者が健常者と同じ職場で働くと、自分達も一人前に仕事が出来るのだという自信を持つことになり、一方健常者の方は一緒になって目標を達成しようとする思いやりの心が培われてくるのです。

職場での教育訓練は、学校とは異なって教室で教える様な訳にはまいりません。毎日の仕事の中で状況と場面に応じ、実例を示し時には手をとって教えることが自然と身につき熟練してくるのです。

健常者には、自分でも人を育てることが出来たという満足感が与えられ、障害者は同じ職場のパートナーとして役に立っているのだという喜びと、これからの自分の人生に生き甲斐を見出すことになるのです。

人間は、兎に角自分と異質的な相手に対し排他的になり易いものです。この二者の共生と協働が、お互いの人格を尊重し、相互信頼によって育て合う事になるのでしょう。この方法が全ての業種に適用できるとは限りませんが、弊社の場合は、良い結果を得ているものと確信しております。

黄色い帽子

一年生がかぶっている黄色い帽子は新羽社会福祉協議会より頂きました。子供達はこの帽子により、交通事故から守られ安心して通学することができると思います。暖かい心使い、ありがとうございます。

南町内会　小山正江

◇　◇　◇

我が子に、黄色い帽子の話しをした。運転手さんは黄色い帽子の子供を見ると、「あ、一年生だから気を付けて運転しよう」と思ってくれる。黄色い帽子は危険から守ってくれる。だから規まりを守って歩けば大丈夫なんだねと。

新羽町内会　岡野加代子

緑と自然のぬくもりを

新羽中副校長　平本勝義

いつの頃からだろうか、私の机の上には幾つかの鉢物が並び、四季の草花を花瓶に入れて眺めるようになった。もともと緑の多い山野で育った私には取り立てて草花に深い関心があった訳でもなかった。そんな私が小学校六年生の春、校舎と花壇の間を歩いてたとき、まったく無意識のままに、今若葉色の新芽を精一杯伸ばしていたつつじの芽を摘んでいた。その場を通り過ぎようとした私の背後から「どうして君は、その芽を摘んだのかな。」と窓越しに見ていた校長先生が声をかけた。私は一瞬ドキッとして身を硬直させ、ただ校長先生の顔を見つめていた。無意識に摘んだ私には答はなかった。そんな私の心を諭すように、「いま君が摘んだその芽は、新しい生命なんだよ。君が摘んだその枝はもう一年間伸びることができないんだよ。」その言葉の終わらぬうちに、真っ赤になった顔を隠して教室目がけて走っていた。多分言われた意味よりも校長先生に声をかけられた恥ずかしさからであったろう。その場を走り去ったその日から、三十数年過ぎた今、草花を眺めているといつも声をかけてくださった校長先生、そして何よりも小さな生命の大切さを教えていただき、それが今の私を大きく変えてくれたひとつにほかならない。さて、新羽の街も学校も、緑の樹木や草花に囲まれた素晴らしい環境に恵まれている。そんな自然の中に生活し自然を大切にしてこそ、人の心の優しさや潤いが育っていくのだろう。緑や自然のぬくもりを、体一杯に受け止めて生きたとき、真の優しさにめぐり会えるのだろう。

車いす

新羽地区社協では、福祉活動の手助けになればと、折たたみ式車いす二台用意してあります。

◎　使用ご希望の方は、地区民生委員に申し出下さい。
◎　使用は無料です。

鮮明に今も

新栄町内会会長
葭谷浩通

横浜市教委指導課に勤めていた頃、時折、市立聾学校へ指導訪問の機会があった。その際の聴覚障害児に言語を習得させるための学習は、涙ぐましく印象深かった。

国語の物語文の授業で、「ひらひら・もっと」等の副詞の意味を分からせるために――聴覚障害児に状況や程度を表わす副詞の理解は至難――また、基本文型を取得させるために、自作磁気黒板やチャートカードを活用して、根気強く学習させていた先生方。グランドピアノに体を押しあてて、懸命に歌唱していた子ども達。小学部就学前の幼児学級で、帰宅後のわが子の語彙拡充の復習用に――言語の習得は、一般には音声言語を聞き、自ら発声するという聴覚的言語経験を基礎にして達成される。だが聾児は、聴覚的経験を剥奪されている――真剣に克明なノートをとる母親の姿を見た。

学年末には、市教委の告辞を携えて、小中高合同の卒業式に列席した。櫃田祐成校長の口話法による送辞に倣って、唇の動きを誇張気味に、ゆっくりと告辞を読んだPTA合せて百数十名の式であったが、特に、職業人として社会に自立する高等部卒業生に対する式後の激励の光景に、胸が熱くなった。昭和三、四十年の頃の昔のことなのに、今も鮮明に記憶している。

さて、心身障害は聴覚ばかりではない。視覚・知能・運動・病虚弱・情緒・言語等。平成元年の統計によれば、養護学校・特殊学級等在学者数は十一万四千人強である。この人達の多くが、将来職業を身につけ社会的に自立できるようにしなければならない。なま易しいことではない。公的相談機関の活動は勿論のこと、広く社会福祉の手がさしのべられなければならない。

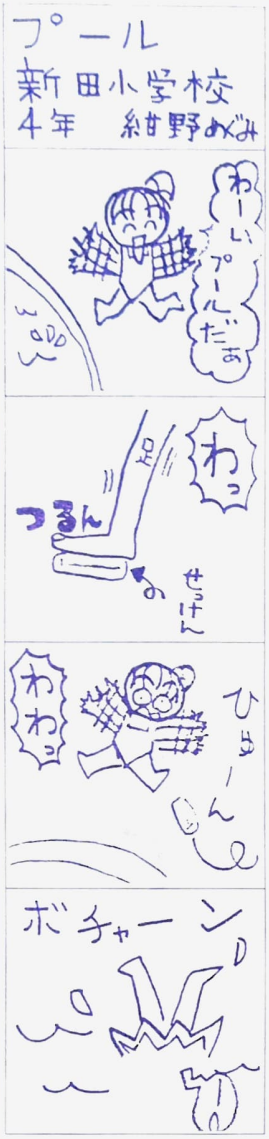
消費生活推進員の活動

"健康とリサイクル"

葉膳料理教室、手造りハム教室、多摩森林科学園桜保存林見学と高尾山ハイキング等の行事。新羽駅前高架下でのフリーマーケット開催。昨年は社会勉強会として、東京都庁と新羽田空港。本年は、東京ガスの科学館と江戸東京博物館の一日研修旅行、いずれも地区の皆様のご協力で五十名の参加をいただきました。又、毎月区役所で行う牛乳パックの回収にも年二回の新羽地区の当番があり、推進員が各五名づつ協力しています。牛乳パックの回収に関して区役所で、富士市の丸富製紙工場再生紙、トイレットペーパー製造過程の見学、ごみ問題に関して、環境事業局南部工場見学に地区代表が参加しました。

これからも、地区の皆様のご協力をいただき、活動を進めていきたいと思っております。

新羽地区消費生活推進員
地区代表　金子　方子
〃　堤　キミ江
〃　中山　節子



新羽地区行事予定

◎子供相撲大会　於・新羽小学校
七月十日
☎五九二―二九三八　萩原

◎スポーツ大会　於・新田小学校
七月二十四日
☎五四一―三一五八　堀内

◎キャンプ　於・このま沢
八月七日・八日
☎五九二―三二七三　飯島

◎フェスティバル　於・新羽中学校
八月二十七日
☎五三一―六九三〇　白岩

◎健民祭　於・新羽中学校
十月二十三日
☎五四一―三一五八　堀内

新田緑道公園

鶴見川に添って帯状に走る緑地は我々が住む地域では、特にこれからの季節が良き憩いの場所です。子供たちには自由な遊び場であり、年老いた方々には仲間同志の歓談の場となっています。

写真は、ある日曜日の早朝、新羽町内会の人達が草取りをしている風景です。（飯塚　広報委員）

社協役員の異動

四月から一部異動がありましたのでお知らせ致します。

理事　米山　滋（中之久保町会）
同　中山　幹雄（大竹町会）
同　鎌田　弘憲（中央町会）
同　秋本　義雄（北新羽町会）
同　石村　仁（新栄町会）

◎広報委員長に中村丈之（理事）がなりました。

訃報

平成六年七月
評議員　大森　武保　様
心よりご冥福をお祈り致します。

編集後記

文月の候、多くの方々のご努力とご協力により、ここに「ふくしの和」第七号をお届け致します。景気低迷の折一層福祉の存在が尊ばれます。

長らく委員長としてお骨折頂きました米山進さんが勇退され、又、不省私が後をお受け致しました。目的達成に盡力致しますので前任者同様よろしくご指導の程、お願い申し上げます。　中村丈之

尚、委員の西村さん、大森さん、尾山さんが退任されました。
新たに
東海林紀子（青・指）
吉森　洋子（子供会）
渡邊　佳子（子供会）
が委員になられました。